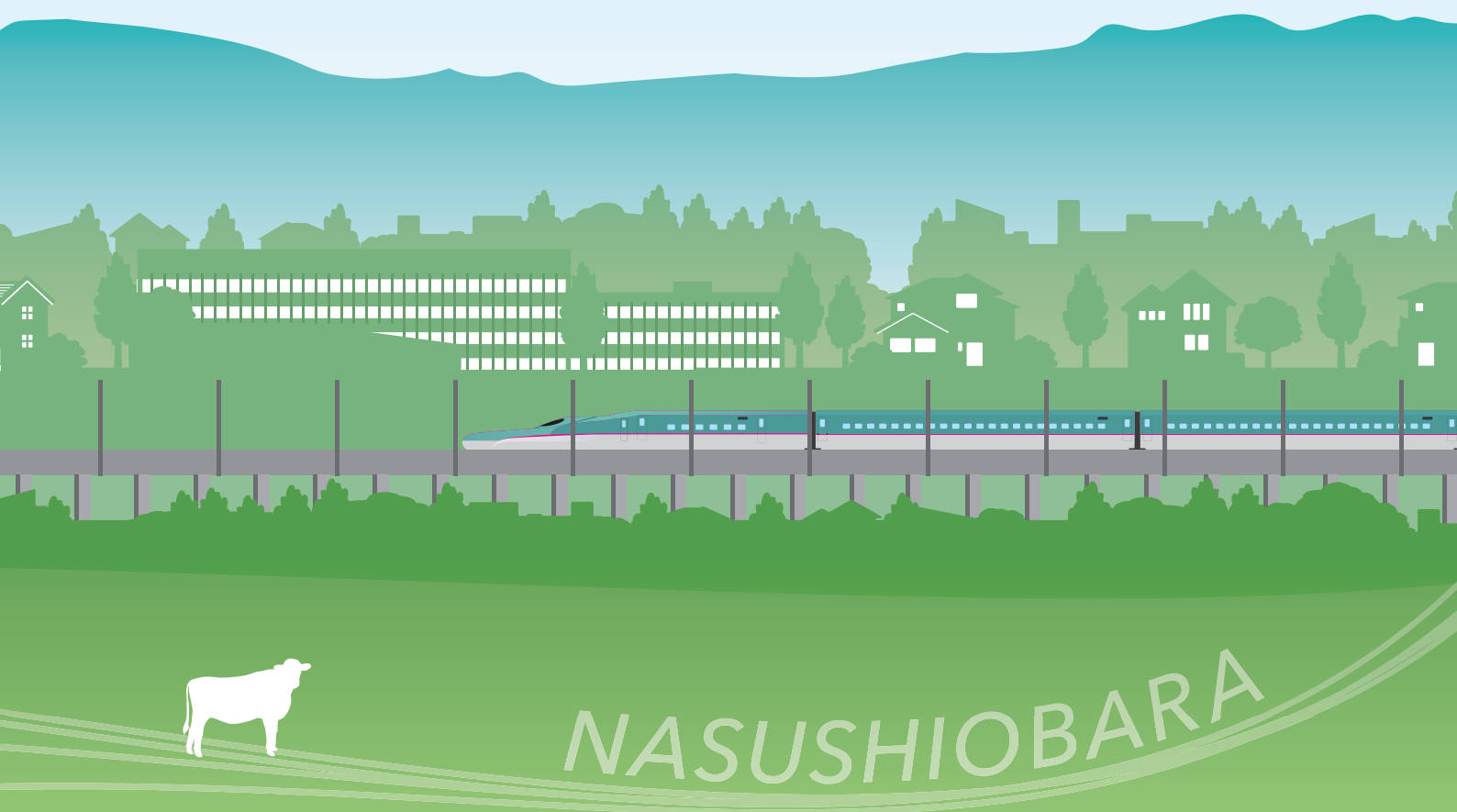


那須塩原市 都市計画マスタープラン

令和7年3月



NASUSHIOBARA

はじめに

平成17(2005)年1月1日に旧黒磯市、旧西那須野町、旧塩原町が合併し、那須塩原市が誕生してから20年が経ちます。合併後、平成21(2009)年3月に「那須塩原市都市計画マスタープラン」を策定し、将来像である「人と自然がふれあうやすらぎのまち 那須塩原」の実現に向け、まちづくりを推進してまいりましたが、この間、人口減少や少子高齢化、大規模自然災害への対応、地球規模での気候変動、価値観や生活様式の多様化など、本市を取り巻く環境は大きく変化し、求められる都市像も変わってまいりました。



このことを踏まえ、第2次那須塩原市総合計画（前期：平成29(2017)～令和4(2022)年度、後期：令和5(2023)～令和9(2027)年度）では「人がつながり新しい力が湧きあがるまち 那須塩原」を将来像に掲げ、「持続可能なまち」の実現に向けて、様々な施策や事業に取り組んでおります。

都市計画においても、交通や環境、産業、防災、福祉、教育など幅広い関連分野と連携しながら持続可能な都市づくりを進めていくため、本市の都市計画に関する基本的な方針として、新たな「那須塩原市都市計画マスタープラン」を策定いたしました。

本計画においては、「メリハリのあるコンパクトな都市づくり」、「利便性の高い交通ネットワークを有する都市づくり」、「安全安心な都市づくり」、「先進的な環境取組による持続可能な都市づくり」の4つを都市計画の目標として定めました。中長期的な視点に立ったまちづくりを総合的かつ一体的に進めていくことで、将来都市構造の基本的な考え方である「多極ネットワーク型コンパクトシティ」の形成を図り、「人々に選ばれる」、「ここに住んでいれば生き延びられる」持続可能な都市を目指してまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重な御意見、御提言をいただきました市民の皆様や、那須塩原市都市計画審議会の委員各位をはじめ、関係者の皆様に心から感謝とお礼を申し上げますとともに、本市のまちづくりに対するより一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

令和7(2025)年3月

那須塩原市長 渡辺 美知太郎

目 次

序章 都市計画マスタープランとは

1. 都市計画マスタープランとは	P 3
------------------	-----

第1章 那須塩原市の現況

1. 那須塩原市の概況	P 9
2. 上位・関連計画	P 18
3. 社会潮流	P 22

第2章 将来都市像

1. まちづくりの基本理念及び将来像	P 27
2. まちづくりの方向性	P 28
3. 都市計画の目標	P 30
4. 将来人口フレーム	P 32
5. 将来都市構造	P 33

第3章 全体構想

1. 土地利用の方針	P 39
2. 交通体系の整備方針	P 45
3. 自然環境に配慮したまちづくりの方針	P 49
4. 市街地の整備方針	P 53
5. 観光拠点の整備方針	P 56
6. 景観づくりの方針	P 57
7. 安全で安心できるまちづくりの方針	P 60

第4章 地域別構想

地域区分	P 65
1. 東那須野地区	P 66
2. 黒磯地区	P 72
3. 西那須野地区	P 78
4. 高林地区	P 84
5. 関谷地区	P 88
6. 板室地区	P 92
7. 塩原地区	P 96

第5章 計画の実現に向けて

1. 市民・事業者・行政の協働によるまちづくり	P 103
2. 都市計画諸制度を活用した計画的なまちづくり	P 104
3. 都市計画マスタープランの進行管理	P 105

資料編

用語集	P 109
-----	-------